

避難する場合は

避難する前に! (台風や大雨が近づいてきたら)

① 家の外の確認

風で飛ばされそうな物(鉢植え)を家の中に入れる

止水板と土のうで家屋(ドア)への水の浸入を防ぐ

排水溝や側溝を掃除して水はけを良くする

② 家の中の確認

雨戸や窓の鍵をしっかりかけ、必要に応じてガラスにテープを張って補強する

大事な家財道具などを高いところに移動させる

キッチンや風呂、トイレなどから下水が逆流しないよう、水のうで排水口をふさぐ

③ 非常時のための準備

停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオを準備する

断水に備えてペットボトルなどに飲料水を確保し、浴槽に水を張る

避難先までの安全な経路を確認

ひとり暮らしの高齢者や重度の障がいがある方など

避難行動要支援者登録制度について

避難行動要支援者名簿は、自身の情報を町の名簿に登録することにより、災害時における安否確認や避難支援などを円滑に図るためのもので、ひとり暮らしの高齢者や重度の障がいがある方などがその対象となります。

町は、登録を希望された方の情報を名簿に登載し、自治会(自主防災組織)、民生委員、消防署(消防団を含む。)などに情報提供して、災害時の避難支援に役立てます。

なお、この登録により災害時の避難支援が保障されるものではありません。また、避難支援する方は法的な責任や義務を負うものではありません。

詳しくは、役場介護課又は社会福祉課へお問い合わせください。



避難する際、当面必要となる持ち出し品を収納したリュックなどを、玄関の近くや寝室、車の中、物置などに配置しておけば、地震などで家屋が倒壊しても持ち出すことができるよ!

避難する際の非常持ち出し品

- 食料・飲料水(1日分)
- 常備薬(お薬手帳含む)
- 生活用品(歯ブラシ、着替え、タオル、スリッパなど)
- 衛生用品(マスク、カイロ、おむつなど)
- 貴重品(現金、保険証など)
- その他(スマートフォン・携帯電話など)
※充電用ケーブルを含む
- 持ち出し品を収納するリュックなど



災害時にペットと一緒に避難する際のお願い

町では、ペットと暮らす町民の方々が、風水害や地震災害などで避難所に避難する場合は、ペットと一緒に避難することができます。一方、避難所には、アレルギー疾患をお持ちの方や、衛生面・鳴き声などにストレスを感じる方もいらっしゃる可能性があり、この方々への配慮も必要なことから、飼い主の方は、次の方法で避難できるように、平常時から準備していただくようお願いします。

ペットとの避難方法

- ① ケージやキャリーケースを携行して避難所へ避難し、指定された場所に、ケージなどを設置して飼育していただく。
 - ② お車で避難所へ避難し、ペットを駐車場の車内で飼育していただく。
- ※ 町は、避難所を開設する際に、防災行政無線などで、ペットと一緒に避難できる避難所をお知らせします。

避難する際にお持ちいただくもの

- ケージ・キャリーケース
 - ペットフード、食器
 - トイレシート、排泄物の処理用具
 - 首輪、リード
- ※ 詳しくは、地域政策課防災係へお問い合わせください。

